

2022年5月24日

人とくるまのテクノロジー展 2022 YOKOHAMA に FORVIA の最先端技術・ソリューションを出展

FORVIA（フォルヴィア）グループのフォルシアとヘラーは、人とくるまのテクノロジー展 2022 YOKOHAMA（会期：2022年5月25日から27日まで、会場：パシフィコ横浜）に、日本で初めて共同でブースを出展します（ブース番号：150,151）。当ブースでは、安全、サステナブル、先進的、そしてカスタマイズされたモビリティを作り出していく、幅広い技術とソリューションを紹介します。

フォルシアは自動車用シート、内装量産部品の他、炭素繊維構造の最適化により15~20%の軽量化、また、最大質量密度7%という、クラス最高のタンク軽量化設計および貯蔵効率を実現した、70メガパスカルの気体水素を貯蔵する小型商用車向けタンクシステムを紹介します。さらに、太陽光の下でも視認性を維持し、消費電力低減にも貢献する高度な画像処理技術を使用したディスプレイや、乗員の状態をカメラで監視し安全運転を促進するドライバーモニタリングシステム、車両周辺の安全を確保するEミラーやサラウンドビューなどの独自技術カメラを展示します。

ヘラーは、e-モビリティのための様々なセンサーや電子ソリューションを紹介します。自動運転のキーコンポーネントである77GHzレーダーセンサーをはじめ、構造伝播音センサーSHAKEなど、より安全で効率的、そして快適な運転を実現する様々なセンサー製品を展示します。エレクトロモビリティの分野では、ヘラーの12Vリチウムイオンバッテリーが注目されています。電気自動車では、静止電流と冗長電源の役割を果たし、内燃機関またはハイブリッドエンジンを搭載した自動車では、鉛蓄電池の代わりにもなります。また、電気自動車の効率的な熱マネジメントに必要なすべての機能を1つのシステムにまとめた、初の製品である「Coolant Control Hub（クーラントコントロールハブ）」も展示します。

世界的なイノベーターでありシステムプロバイダーであるフォルヴィアは、安全で、サステナブル、先進的で、カスタマイズされたモビリティをかたち作る包括的なポートフォリオを提供しています。急成長する自動車技術に焦点を当て、フォルヴィアはステークホルダーに長期的な価値をもたらすとともに、今日と未来の世代のために、より責任あるサステナブルなモビリティを提供していきます。

フォルヴィアについて

世界第7位の自動車技術プレイヤー、フォルヴィアは、フォルシアとヘラーの技術および生産上の強みを補完し合うことで構成されています。世界40カ国以上に300以上の工場と66のR&Dセンターを持ち、35,000人以上のエンジニアを含む15万人の従業員を擁するフォルヴィアは、現在および将来の自動車産業の課題に対して独自の包括的なアプローチを提供しています。6つのビジネスグループと24の製品ラインで構成され、世界中のカーメーカーから一番に選ばれるイノベーションおよび統合パートナーになることに注力しています。安全で、サステナブルで、先進的で、カスタマイズされたモビリティのソリューションを提供します。フォルヴィアは、モビリティの変革を予見し、実現することを約束するチェンジメーカーとなることをめざしています。詳しい情報は、www.forvia.comをご覧ください。

フォルシアについて

フォルヴィアグループ傘下のフォルシアは、グローバル・オートモティブ・テクノロジー・リーダーです。世界33カ国に257の事業所と39の開発拠点をもち、110,000人の従業員を擁しています。自動車用シート、インテリア、クラリオンエレクトロニクス、そしてクリーンモビリティの4つの事業分野を通じて事業を展開しています。2021年度のグループ売上高は156億ユーロでした。フォルシアはユーロネクスト・パリ証券取引所に上場し、CAC NEXT 20 構成銘柄に名を連ねています。詳しい情報は、www.faurecia.comをご覧ください。

ヘラーについて

ヘラーは、フォルシアの上場子会社であり、両社は包括ブランドであるフォルヴィアのもとで活動しています。フォルヴィアグループの中で、ヘラーは、主に高性能ライティング技術と自動車用電子部品を担当しています。同時に、ライフサイクルソリューション・ビジネスグループでは、スベアパーツ・ワークショップ事業や特殊車両メーカー向けの幅広いサービスと製品ポートフォリオをカバーしています。ヘラーは世界中の125以上の拠点で36,000人の従業員を擁しており、2020/2021年度の売上高（通貨とポートフォリオ調整後）は65億ユーロでした。